

令和7年度

シラバス

< 2 年生 >



滋賀県立彦根東高等学校

※内容は予定です。変更する場合がありますので、授業等での先生方からの連絡をよく聞くこと。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[国語] 科

科目名	論理国語		学年	類型・コース	単位数
			2	全	2
学習の 目 標	現実社会において必要な国語の知識や技能を習得し、言語活動を通して論理性や創造性、伝え合う力や考えを深めたり広げたりする力を育み、言語文化の担い手としての積極的な態度を養うこと。				
使 用 教 材	教科書	探求 論理国語（桐原書店）			
	副教材	入試頻出漢字＋現代文重 要語彙 TOP2500（いいずな書店）、新訂版常用国語便覧（浜島書店）、基礎が身につく現代文レベル3改訂版（Z 会）、読解評論文キーワード（筑摩書房）、「探求 論理国語」がひらく世界 近代小説四選（桐原書店）			
評 価	評価法	定期考査、小テスト（毎週）、パフォーマンス課題（レポート発表、プレゼンテーション、グループ討議）、ノート、自学用課題などを材料として、評価します。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	より多くの語彙の習得と、言葉の特徴・使い方や文章中における情報相互の関係を理解・整理することを通して、新たな考えを構築しながら他者とさまざまな関わる力を身につけ、現実社会に生かしている。	
		2	思考・判断・表現	文章の種類をふまえて多面的・多角的な視点から、論理的、批判的に文章を吟味し考える力を伸ばすとともに、効果的な情報収集と論理的で明晰に表現する力を磨き、多様な論点と価値観をもって自分の考えを深めている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	さまざまな文章に積極的に触れ、言葉の価値の認識の深化に努めながら、言葉を通して他者と関わり、主体的に自己の課題と向上のための学習に取り組んでいる。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 5	評論—視点を広げる 「気持ちよさという罪」 【読むこと】6時間 評論—関連文章で解釈を深める 「いのちは誰のものか」 〈知〉の深化 小説 晴れた空の下で 【書くこと】4時間	・「多様性」「人権」「個人の自由」といった現代的トピックについて、視野を広げる。 ・指示語や接続表現に着目し、基本的な論理構造、論の趣旨をとらえる。 ・小説を読み、文化に通底する思想性について考えを深める。	中間考査 小テスト	中間考査	課題・レポート
6	評論—主張を読み取り批判的視点を持つ 「変身に伴う快楽と恐れ」 資料1 山月記	・複数の資料を比較し、それぞれの特徴を理解、整理する。 ・語彙、表現特徴に着目して鑑賞する。 ・変身譚と、変身というキーワードに関連する自己像変容に係わる文化的考察を	期末考査 小テスト	期末考査	課題・レポート

7	【読むこと】8時間 評論—論展開を分析する 身体と出現 資料2 変身 【書くこと】6時間	読む。 ・変身、自己像変容といった事象について、 広く考え、考察し、まとめる。			
---	---	---	--	--	--

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	評論—文化、社会について視点を広げる。 「淋しい人間」 資料 ころ 【読むこと】12時間	・近代性と人間の自我について考察を深める。 ・社会構造の変化が、思考・感情に影響を与えることについて考えを深める。 ・深めたい項目を調査し、論拠を明確に示しながら考えを述べる。	中間審査 小テスト	中間審査	課題・レポート
10 11 12	評論—表現を分析する 「行動としての話し言葉」 【読むこと】7時間 評論—視点を広げる 「世界の見え方を変える」 【書くこと】5時間	・「話すこと」「書くこと」といった現代社会でとくに重要視されている言語「表現」能力について、考えを深める。 ・言語表現のメタ的要素の重要性や訓練の方法について考えを深め、模索する。 ・身近な例や実践を想定して、意見をまとめる。	期末審査 小テスト	期末審査	課題・レポート

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	評論—文化、社会について理解を深める 「芸術も科学も「別世界」を見せる」 【読むこと】7時間	・近代教育制度が土台としている西洋の学術史について理解を深める。 ・文化的なものと科学的なものが相反するという常識的感覚を疑い、総合的に論じる視点を身につける。 ・現代の身の回りの文化事象の持つ意味合いについて、考察する。	学年末審査 小テスト	学年末審査	課題・レポート
2 3	評論—論展開を理解する 「ドローン兵器とSNS」 「暴力はどこから来たか」 【書くこと】9時間	・「写真」「SNS」といった身近で現代的なトピックについて、理解を深める。 ・「戦争」「暴力」といった観点から、人間について、考察を深める。 ・現代社会で実際に起こっていることがらを顧み、現代社会の課題や今後について自分の言葉で考察し、まとめる。	学年末審査 小テスト	学年末審査	課題・レポート

担当者からのメッセージ

「論理国語」では、論理的文章や実用的文章を教材として、論理的・批判的に考える力を伸ばし、創造的に考え、他者と関わり合うなど、実社会で必要とされる国語力の育成を目指します。論理構造の明瞭な評論文が主な教材となりますが、思想そのものは様々な形で、例えば散文小説の形となって、表れることもあります。そこで、多様な種類の文章や資料に触れながら、他者の主張を読み取り、自らの考えを深めて、表現したり仲間と交流したりする活動も行います。主体的に調べたり覚えたり考えたりする姿勢を大切にして、授業を通して仲間と切磋琢磨しながら自己の内面を鍛え、積極的に発信することの楽しさや大切さを実感して、言葉を通して社会で活躍できるようにしてください。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔国語〕（国語科）

科目名	古典探究		学年	類型・コース	単位数
			2	GS 理/理	2
学習の目標	多様な分野からの古典作品を読解する中で、国語に関する知識を豊富にし、多面的な技能を養成し、言語活動を通して思考力や表現力を養い、さらに探究的・主体的な学びを深めることで、将来において日本文化を世界に発信し展開できる人材を育成する。				
使用教材	教科書	古典探究「古文編」・「漢文編」（第一学習社）			
	副教材	「錬成古文」「錬成漢文」 尚文出版 「読んで見て聞いて覚える 重要古文単語 3 1 5」 桐原書店 「新訂版常用国語便覧」 浜島書店 「新しい古典文法」 四訂新版 桐原書店 「精選漢文」 尚文出版			
評価	評価法	定期考査、レポート、スピーチ発表、小テスト、などで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	古典単語の知識を持ち、漢文句法を理解し、古典を正確に訳し、理解している。	
		2	思考・判断・表現	文章の読解を通して作者の考えを考察したり、複数の教材を比較して伝えたい内容を吟味し、内容について多面的に判断し、自らの考えを述べたり記述したりしている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	国語の読解力を高めるための諸課題に主体的に取り組み、これまで学んだ自らの知識や技能、思考力を生かし、より効果的な学習方法を考えて実践している。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，C の 3 段階）および評定（1 ～ 5 の 5 段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	説話—我が国の文化、感性を学ぶ 古代の史話—古代中国史について学ぶ	『沙石集』『歌ゆゑに命を失うこと』 【読むこと】3時間 ・基礎的な語の用法について学ぶ。 ・中古の貴族の文化価値観について知識を深める。 『十八史略』『鼓腹撃壤』 【読むこと】2時間 ・基礎的な語の用法について学ぶ。 ・古代中国史と逸話について知識を深める。	中間考査 小テスト	中間考査	課題・レポート

5	物語—先人の感性を学ぶ 史話—訓読の決まりについて理解を深める	『伊勢物語』『渚の院』『小野の雪』 【読むこと】4時間 ・語彙を豊かにする。 ・和歌を重視した貴族文化で培われた我が国の感性について知識を深める。 『十八史略』『鶏鳴狗盗』 【読むこと】2時間 ・語彙を豊かにする。 ・	中間考查 小テスト	中間 考 査	課題・レ ポート
6	歴史物語—史実と文学表現について理解を深める 史話—史実と文学表現について理解を深める	『大鏡』『弓争い』 【読むこと】3時間 ・古文の文章の種類について理解を深める。 ・中古の歴史的事実について知識を深めた上で、文学表現としての面白さについて理解を深める。 『史記』『鴻門之会』 【読むこと】4時間 ・漢文の文章の種類について理解を深める。 ・古代中国の史実について知識を深めた上で、文学表現としての面白さについて理解を深める。	期末考查 小テスト	期 末 考 査	課題・レ ポート
7	歴史物語—史実と文学表現について理解を深める	『大鏡』『花山天皇の出家』 【読むこと】4時間 ・中古の歴史的事実について知識を深めた上で、文学表現としての面白さ、視点の相違による描かれ方の違い等について理解を深める。	期末考查 小テスト	期 末 考 査	課題・レ ポート・ 発表

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	随筆—先人の感性を学ぶ 史話—史実と文学表現について理解を深める	『枕草子』『二月のつごもりごろに』 【読むこと】3時間 ・古文の文の成分について理解を深める。 ・先人のものの見方、考え方に親しみ、現在のわれわれの感性を照顧する。 『史記』『四面楚歌』 【読むこと】4時間 ・漢文の文章の展開について理解を深める。	学力考查 中間考查 小テスト	学力考 査 中 間考查	課題・ レポー ト

		・古代中国の史実について知識を深めた上で、文学表現としての面白さについて、主題の相違による描かれ方の違い等について理解を深める。			
10	随筆—先人の感性を学ぶ 思想—先人の思想を学ぶ	『枕草子』『中納言殿参り給ひて』 【読むこと】4時間 ・古文の文の照応について理解を深める。 ・歴史物語の描写と比較する観点を持ち、書き手の視点や感性について理解を深める。 『論語』 【読むこと】3時間 ・漢文の文の成分について理解を深める。 ・伝統的儒教の礎を学び、我が国の倫理観への影響について思索を深める。	中間考査 小テスト	中間考査	課題・レポート
11	物語—我が国の文化の特質を学ぶ 思想—先人の思想を学ぶ	『源氏物語』『光る君誕生』 【読むこと】4時間 ・古典の文章の展開の仕方について理解を深める。 ・物語の内容の基本を丁寧に確認しながら、我が国の文化に与えた影響の大きさについて理解を深める。 『孟子』 【読むこと】3時間 ・漢文の文章にあらわれる言葉の響きやリズムについて理解を深める。 ・伝統的儒教の礎を学び、我が国の倫理観への影響について思索を深める。	期末考査 小テスト	期末考査	課題・レポート
12	日記—先人の思考を読み取る	『更級日記』『門出』『源氏の五十余巻』 【読むこと】3時間 ・古典の文章の構成について理解を深める。 ・先人のくらしや日常的な思いの描写を読み、現代の我々のそれと比較して省察する。	期末考査 小テスト	期末考査	課題・レポート

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	物語—我が国の文化の特質を学ぶ	『源氏物語』『若紫』 【読むこと】4時間 ・古典の作品に表れている言葉の響きについて理解を深める。	課題考査 学力考査 小テスト	課題考査 学年末考査	課題・レポート

	思想—先人の思想を学ぶ	・我が国の文化の特質について理解を深める。 『老子』 【読むこと】 3 時間 ・漢文の文章に表れている言葉の響きや修辞について理解を深める。 ・古代中国思想の展開について理解を深める。			
2	日記—古典の表現への感性を磨く 思想—先人の思想を学ぶ	『和泉式部日記』「夢よりもはかなき世の中」 【読むこと】 3 時間 ・修辞など表現の特色について理解を深める。 『莊子』 【読むこと】 3 時間 ・漢文の文章に表れている言葉の響きや修辞について理解を深める。 ・古代中国思想の展開について理解を深める。	学年末考查 学力考查 小テスト	学年末考查 学力考查	課題・レポート
3	随筆—我が国の伝統的美意識について考察する 思想—先人の思想を学ぶ	『徒然草』「花は盛りに」 『玉勝間』「兼好法師が詞のあげつらひ」 【読むこと】 3 時間 ・古典を読むために必要な語彙や用法についての理解を深める。 ・我が国の伝統的感性についての異なる描出について読み比べ、自分のものの見方、感じ方を照らす。 『韓非子』 【読むこと】 3 時間 ・漢文の語句や用法について理解を深める。 ・古代中国思想の展開について理解を深める。	学年末考查 小テスト	学年末考查	課題・レポート 発表

担当者からのメッセージ

「古典探究」では日本の古文と漢文の、今日の日本文化を形成した伝統的な作品群を学習することにより、知識、技能を習得するのみならず、思考力を深め、自ら主体的に探究心をもって学ぼうとする態度を培うことができる。また、他者の心情をくみ取ったり、日本情緒を体得したりすることを通して国語の深い学びに入り、人間性を養い、国際社会を生きる日本人として、日本の古典の神髄を海外に発信し展開できる国際人としての成長が期待できる。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔国語〕（国語科）

科目名	GS国語探究		学年	類型・コース	単位数
			2	GS 文/文	4
学習の目標	多様な分野からの古典作品や現代作品を読解する中で、国語に関する知識を豊富にし、多面的な技能を養成し、言語活動を通して思考力や表現力を養い、さらに探究的・主体的な学びを深めることで、将来において日本文化を世界に発信、展開できる人材を育成する。				
使用教材	主たる教材	古典探究「古文編」・「漢文編」（第一学習社） / 文学国語（筑摩書房）			
	副教材	「錬成古文」「錬成漢文」 尚文出版 「読んで見て聞いて覚える 重要古文単語 3 1 5」 桐原書店 「新訂版常用国語便覧」 浜島書店 「新しい古典文法」 四訂新版 桐原書店 「精選漢文」 尚文出版			
評価	評価法	定期考査、レポート、スピーチ発表、小テスト、などで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	古典単語の知識を持ち、漢文句法を理解し、古典を正確に訳し、理解している。現代文の文章を語句の意味などの知識を持ち、正しく読解している。	
		2	思考・判断・表現	文章の読解を通して作者の考えを考察したり、複数の教材を比較して伝えたい内容を吟味し、内容について多面的に判断し、自らの考えを述べたり記述したりしている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	国語の読解力を高めるための諸課題に主体的に取り組み、これまで学んだ自らの知識や技能、思考力を生かし、より効果的な学習方法を考えて実践している。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	古文 説話 漢文 史話 文学 近代詩	『沙石集』「歌ゆゑに命を失うこと」 【読むこと】 『十八史略』「鼓腹撃壤」 【読むこと】 「小景異情」「サーカス」「永訣の朝」 【書くこと】	中間考査 小テスト	中間考査	課題・レポート
5	古文 物語 漢文 故事・寓話	『伊勢物語』「小野の雪」 『大和物語』「苔の衣」 【読むこと】 『孫子』「呉越同舟」 【書くこと】	中間考査 小テスト	中間考査	課題・レポート

	文学 随想・評論	「小説とは何か」 【読むこと】			
6	古文 歴史物語	『大鏡』『雲林院の菩提講』『弓争い』 【読むこと】	期末考查 小テスト	期末考查	課題・レ ポート
	漢文 史話	『史記』『鴻門之会』 【読むこと】			
	文学 随想・評論	「情報の彫刻」 【読むこと】			
7	古文 歴史物語	『大鏡』『花山天皇の出家』 【書くこと】	期末考查 小テスト	期末考查	課題・レ ポート・ 発表

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	古文 随想	『枕草子』『二月つごもりごろに』『宮には じめて参りたるころ』『雪のいと高う降 りたるを』 【読むこと】	学力考查 中間考查 小テスト	学力考查 中間考查	課題・レ ポート
	漢文 史話	『史記』『四面楚歌』 【読むこと】			
	文学 随想・評論	「バイリンガリズムの政治学」【書くこと】			
10	古文 随想 物語	『枕草子』『古今の草子を』 『源氏物語』『光る君誕生』【読むこと】	中間考查 小テスト	中間考查	課題・レ ポート
	文学 随想・評論	「実態の美と状況の美」 【書くこと】			
11	古文 物語	『源氏物語』『若紫』 【読むこと】	期末考查 小テスト	期末考查	課題・レ ポート
	漢文 思想	『論語』 【書くこと】			
	文学 随想・評論	記号論と生のリアリティ 【書くこと】			
12	古文 日記	『更級日記』『門出』『源氏の五十余巻』 【読むこと】	期末考查 小テスト	期末考查	課題・レ ポート

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	古文 日記	『蜻蛉日記』『うつろひたる菊』『汧の水』 【読むこと】	課題考查 学力考查 小テスト	課題考查 学年末考查	課題・レ ポート
	漢文 思想	『孟子』 【書くこと】			
	文学 随想・評論	「空と風と星と詩」 【読むこと】			
2	古文 日記	『和泉式部日記』『夢よりもはかなき世の中』 【読むこと】	学年末考查 学力考查 小テスト	学年末考查 学力考查	課題・レ ポート
	漢文 思想	『老子』『荘子』 【書くこと】			
	文学 随想・評論	未来をつくる言葉 【読むこと】			
3	古文 日記	『紫式部日記』『若宮誕生』【書くこと】	学年末考查 小テスト	学年末考查	課題・レ ポート 発表
	漢文 思想	『韓非子』 【読むこと】			

担当者からのメッセージ

学校設定科目の「GS 国語探究」の特徴は、「古典探究」では扱うことができない近現代の文学的文章も学ぶことによって、我が国の伝統的な言語文化の学びから、近現代における思想にまでつながる系統だった学びが行えることである。日本の古文と漢文の、今日の日本文化を形成した伝統的な作品群を学習することにより、知識、技能を習得するのみならず、思考力を深め、自ら主体的に探究心をもって学ぼうとする態度を培うことができる。また、近現代の文学的文章を扱うことで、他者の心情をくみ取ったり、日本情緒を体得したりすることができ、総合的に国語の深い学びに入り、人間性を養い、国際社会を生きる日本人としての成長が期待できる。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔地歴公民〕科

科目名	地理総合		学年	類型・コース	単位数
			2	全	2
学習の目標	地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を高める。				
使用教材	教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院） 詳解現代地図（二宮書店）			
	副教材	最新地理図表 GEO（第一学習社） 新地理要点ノート（啓隆社）			
評価	評価法	定期考査、レポート、スピーチ発表、ノート、リフレクションシートなどで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	
		2	思考・判断・表現	地理や歴史に関わる事象を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 ・ 5	第1部 ・ 地図でとらえる現代世界 ○地図と地理情報システム ○結び付きを深める現代世界	・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類 ・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界	中間考査	中間考査 レポート	リフレク ションシ ート ノート
6 ・ 7	第2部 ・ 国際理解と国際協力 ○生活文化の多様性と国際理解	・生活文化の多様性 ・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 例：オセアニア・東南アジア	期末考査	期末考査 レポート	リフレク ションシ ート レポート ノート

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
8 ・ 9 ・ 10	第 2 部 国際理解と国際協力 ○生活文化の多様性と国際理解	- 世界の言語・宗教と人々の生活 例：中央アジア・西アジア・北アフリカ・インド - 歴史的背景と人々の生活 例：ラテンアメリカ・サハラ以南アフリカ・ロシア - 世界の産業と人々の生活 例：アメリカ合衆国・東アジア・ヨーロッパ	中間調査	中間調査レポート	リフレクションシート ノート
11 ・ 12	○地球的課題と国際協力	- 複雑に絡み合う地球的課題 - 地球環境問題 - 資源・エネルギー問題 - 人口問題 - 食料問題 - 都市・居住問題	期末調査	期末調査レポート	リフレクションシート レポート ノート

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1 ・ 2 ・ 3	第 3 部 持続可能な地域づくりと私たち ○自然環境と防災 ○生活圏の調査と地域の展望	- 日本の自然環境 - 地震・津波と防災 - 火山災害と防災 - 気象災害と防災 - 自然災害への備え - 生活圏の調査と地域の展望	学年末調査	学年末調査スピーチ発表	リフレクションシート スピーチ発表 ノート

担当者からのメッセージ

教科書や副教材の図説はもちろんですが、本や新聞など紙媒体の情報をしっかり「読んで」ください。情報を「見る」のではなく「読んで」、私なら「どう思うか、どう行動するか」考えてください。それが出発点です。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔地歴公民〕科

科目名	世界史探究		学年	類型・コース	単位数
			2	GS／文	2
学習の目標	社会的事象への歴史的な見方、考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につけることを目指す。				
使用教材	教科書	新詳世界史探究（帝国書院）			
	副教材	最新世界史図説タペストリー（帝国書院） Winning COM.-PASS 世界史の整理と演習（とうほう）			
評価	評価法	定期考査、レポート、ノート、リフレクションシートなどで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	世界の歴史の諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	世界の歴史の諸事象について、事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論できる。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 ・ 5	1部 世界史へのまなざし 2部 諸地域の歴史的特質の形成	・地球環境からみる人類の歴史 ・日常生活からみる世界の歴史 ・古代文明の歴史的特質 ・東アジアと中央ユーラシアとの歴史的特質	中間考査	中間考査 レポート	リフレクションシート ノート
6 ・ 7	2部 諸地域の歴史的特質の形成	・南アジアと東南アジアの歴史的特質 ・西アジアと地中海周辺の歴史的特質	期末考査	期末考査 レポート	リフレクションシート レポート ノート

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
8 ・ 9 ・ 10	3部 諸地域の交流・再編 4部 諸地域の結合・変容	・ユーラシア大交流圏の成立 ・アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出 ・主権国家体制の成立と交易の拡大 ・環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生 ・イギリスの覇権と欧米の国民国家建設 ・世界の一体化の完成とその影響	中間考査	中間考査 レポート	リフレク ションシ ート ノート
11 ・ 12	4部 諸地域の結合・変容	・世界大戦の時代 ・戦後の国際秩序と冷戦	期末考査	期末考査 レポート	リフレク ションシ ート レポート ノート

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1 ・ 2 ・ 3	5部 地球世界の課題	・冷戦の展開と平和の模索 ・グローバル化する国際秩序とその課題 ・情報と科学技術によって結びつく世界 ・地球世界の課題の探求	学年末考査	学年末考 査 レポート	リフレク ションシ ート レポート ノート

担当者からのメッセージ

様々な時代・地域においてダイナミックに展開する歴史をともに学んでいきましょう。諸資料を駆使して、現代に通じる課題をみつけ、これを検討することを通じて歴史を見る目をやしなっていきましょう。そして、それを的確な言葉で表現することを通じて、歴史を学ぶ楽しさを共有できればと思います。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔 地歴公民 〕 科

科目名	日本史探究		学年	類型・コース	単位数
			2	GS/文	2
学習の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
使用教材	教科書	『日本史探究（実教出版）』			
	副教材	『図説日本史通覧（帝国書院）』『詳録新日本史史料集成（第一学習社）』 『時代と流れで覚える！日本史用語（文英堂）』			
評価	評価法	定期考査，レポート，ノート，スピーチ発表，リフレクションシートなどで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し，史資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察し，表現している。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	歴史の展開に関わる諸事象について，多面的・多角的な考察や深い理解を通して現代の諸課題に対する問題意識を高め，我が国の歴史や文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 ・ 5	第1部 原始・古代の日本と東アジア 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 ヤマト政権の成立と古墳文化 第3章 律令国家の形成 第4章 古代の国家・社会の変容	○日本列島最古の文化 ○縄文時代の社会と文化 ○弥生時代の社会と文化 ○小国の分立と邪馬台国 ○古墳の出現とヤマト政権の成立 ○ヤマト政権の展開と統治の進展 ○古墳時代の生活と文化 ○古代国家の形成 ○飛鳥文化・白鳳文化 ○律令制度 ○奈良時代の政治 ○天平文化 ○律令体制再編期の政治と社会	中間考査	中間考査レポート	ノート レポート リフレクションシート
6 ・ 7	第2部 中世の日本と世界 第1章 荘園公領制の成立と院政 第2章 中世の国家・社会の展開	○摂関政治の成立と支配体制の転換 ○国風文化 ○鎌倉幕府の成立と朝廷 ○中世に生きる人々 ○蒙古襲来と幕府の衰退 ○鎌倉文化	期末考査	期末考査レポート	ノート レポート リフレクションシート

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
8 ・ 9 ・ 10	第3章 中世の国家・社会の変容 第3部 近世の日本と世界 第1章 東アジアの世界の変容と天下統一 第2章 幕藩体制の成立と展開	○南北朝の動乱 ○室町幕府の政治と外交 ○室町社会の展開と応仁の乱 ○室町文化 ○戦国大名の分国経営 ○織豊政権 ○天下統一の完成 ○近世成立期の文化 ○幕藩体制の成立 ○貿易の統制と対外関係 ○近世社会のしくみ ○幕府政治の展開 ○経済の発展 ○元禄文化と学芸の発展	中間考查	中間考查 レポート	ノート レポート リフレク ションシ ート
11 ・ 12	第3章 近世の国家・社会の変容 第4部 近現代の地域・日本と世界 第1章 開国から倒幕へ 第2章 明治維新 第3章 近代国家の形成	○幕藩体制の動揺と幕政の改革 ○欧米列強の接近と天保の改革 ○近世文化の成熟と変容 ○明治維新 ○文明開化 ○立憲国家への道 ○議会政治の展開と日清・日露戦争 ○産業革命と社会の変化 ○近代文化の形成と展開	期末考查	期末考查 レポート	ノート レポート リフレク ションシ ート

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1 ・ 2 ・ 3	第4章 両大戦間の日本 第5章 十五年戦争と日本 第6章 戦後日本の形成 第7章 グローバル化のなかの現代日本 現代の日本の課題の探究	○第一次世界大戦 ○政党政治の展開 ○市民文化の展開 ○満洲事変 ○日中戦争 ○アジア・太平洋戦争（太平洋戦争） ○占領と民主改革 ○独立と日米安保体制の形成 ○高度経済成長下の日本 ○「国際化」する経済大国 ○新たな世紀の日本へ	学年末考查	学年末考查 レポート スピーチ発 表	ノート レポート スピーチ 発表 リフレク ションシ ート

担当者からのメッセージ

日本史探究を学んでいくには、小学校・中学校・歴史総合でのこれまでの日本の歴史の学びを踏まえ、様々な史資料を読み取り、多面的・多角的に考察することが必要です。そのためには、自分から「なぜだろう？」というような疑問を持ち、それについて知ろうとする主体性が大事です。日本史にかかわるニュースや本など授業内外からの学びも総動員し、日本史について探究していきましょう！

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔 数学 〕 科

科目名	数学Ⅱ		学年	類型・コース	単位数
			2	文	3
学習の 目 標	社会現象や自然現象の解明に欠かせない、いろいろな関数とそのグラフの分析のための考 え方や方法を身につける。				
使 用 教 材	教科書	NEXT 数学Ⅱ			
	副教材	CONNECT 数学Ⅱ+B+C(ベクトル) (数研出版)、 「FocusGold 5thEdition 数学Ⅱ+B+ベクトル(数学C)」(啓林館)、 メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕(数研出版)			
評 価	評価法	定期考査、学力考査、課題考査、確認考査、課題の取組状況および提出状況などで 評価する。			
	評価観 点の趣 旨	1	知識・技能	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な 知識を身に付けている。事象を数学的に表現・処理する仕方 や推論の方法などの技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り 多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な 見方や考え方を身に付けている。	
		3	主体的に学習に 取り組む態度	数学的な考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識 し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づ いて判断しようとする。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A、 B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	数学Ⅱ 第4章『三角関数』	* 角の概念を一般角まで拡張する意義 や弧度法による角度の表し方を理解する。 * 加法定理や2倍角公式、合成について 理解する。	中間考査 課題	中間考査 課題	課題
5					
6	数学Ⅱ 第5章『指数関数と対 数関数』 指数関数	* 指数を自然数から整数さらに有理数 へと拡張する意義を理解し、指数法則を 用いて数や式の計算ができる。 * 指数関数のグラフについて理解する。	期末考査 課題	期末考査 課題	課題
7					

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	数学Ⅱ 第5章『指数関数と対数関数』対数関数	＊対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算ができる。 ＊対数関数のグラフについて理解する。	学力考查 確認考查 中間考查 課題	学力考查 確認考查 中間考查 課題	課題
10	数学Ⅱ 第6章『微分法と積分法』	＊導関数の意味について理解し、導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくことができる。 ＊不定積分及び定積分の意味について理解し、積分の考えを用いてグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。	中間考查 確認考查 期末考查 課題	中間考查 確認考查 期末考查 課題	課題
11					
12					

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの総復習	＊別解を考えることで、一つの問題を様々な方法で解くことができる。	課題考查 学年末考查 課題	課題考查 学年末考查 課題	課題
2					
3					

担当者からのメッセージ

計算力がものをいう場面が増えてくるので、日頃から計算力を向上させるための努力と工夫を怠らないこと。また、日々の予習・復習を着実にやること。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS] (数学科)

科目名	GS 数学Ⅱ			学年	類型・コース	単位数
				2	GS/理	4
学習の 目 標	社会現象や自然現象の解明に欠かせない、いろいろな関数とそのグラフの分析のための考え方や方法を身につける。					
使 用 教 材	教科書	NEXT 数学Ⅱ、NEXT 数学Ⅲ				
	副教材	「CONNECT 数学Ⅱ+B+C(数・統・ベ)」(数研出版)、 「CONNECT 数学Ⅲ+C(複素・式曲)」(数研出版) 「FocusGold 5thEdition 数学Ⅱ+B+ベクトル(数学C)」(啓林館)、 「FocusGold 5thEdition 数学Ⅲ+C(複素数平面・式と曲線)」(啓林館)				
評 価	評価法	定期考査、学力考査、課題考査、確認考査、課題の取組状況および提出状況などで評価する。				
	評価 観点 の趣旨	1	知識・技能	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。		
		2	思考・判断・表現	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。		
		3	主体的に学習に取り組む態度	数学的な考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。		
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。					

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	数学Ⅱ 第4章『三角関数』	* 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方を理解する。 * 加法定理や2倍角公式、合成について理解する。 * 指数を自然数から整数さらに有理数へと拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算ができる。 * 指数関数のグラフについて理解する。	中間考査 課題	中間考査 課題	課題
5	数学Ⅱ 第5章『指数関数と対数関数』指数関数				
6	数学Ⅱ 第5章『指数関数と対数関数』対数関数		期末考査 課題	期末考査 課題	課題
7	数学Ⅱ 第6章『微分法と積分法』	* 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算ができる。 * 対数関数のグラフについて理解する。			

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	数学Ⅱ 第6章『微分法と積分法』 課題学習	＊導関数の意味について理解し、導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくことができる。 ＊不定積分及び定積分の意味について理解し、積分の考えを用いてグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。	学力考查 確認考查 中間考查 課題	学力考查 確認考查 中間考查 課題	課題
	数学Ⅲ 第1章『関数』	＊分数関数や無理関数の性質について理解し、グラフをかくことができる。 ＊合成関数や逆関数の定義や性質について理解し、それらを求めることができる。	中間考查 確認考查 期末考查 課題	中間考查 確認考查 期末考查 課題	課題
10					
11	数学Ⅲ 第2章『極限』	＊数列の極限および無限級数の定義や性質を理解し、簡単な数列の極限を求めることができる。 ＊関数の極限や連続性について理解する。	課題考查 確認考查 課題	課題考查 確認考查 課題	課題
12					

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	数学Ⅲ 第3章『微分法』	＊関数の連続性、微分可能性、関数と第一次導関数、第二次導関数の関係について理解する。	課題考查 学年末考 査 課題	課題考查 学年末考 査 課題	課題
2	第4章『微分法の応用』	＊導関数を用いて、いろいろな曲線の接線を求めたり、グラフの増減、極大・極小、凹凸を調べ、グラフをかくことができる。			
3	課題学習				

担当者からのメッセージ

計算力がものをいう場面が増えてくるので、日頃から計算力を向上させるための努力と工夫を怠らないこと。また、日々の予習・復習を着実にを行うこと。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS] (数学科)

科目名	GS 数学B		学年	類型・コース	単位数
			2	文	2
学習の 目 標	数学と社会生活との関わりについての認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。				
使 用 教 材	教科書	NEXT 数学B、NEXT 数学C			
	副教材	「FocusGold 5th Edition 数学Ⅱ+B+ベクトル(数学C)」(啓林館)、 CONNECT 数学Ⅱ+B+C (数研出版)			
評 価	評価法	定期考査、学力考査、課題考査、確認考査、課題の取組状況および提出状況などで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。事象を数学的に表現・処理する仕方 や推論の方法などの技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り 多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な 見方や考え方を身に付けている。	
		3	主体的に学習に 取り組む態度	数学的な考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識 し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基 いて判断しようとする。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A， B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	数学B 第1章『数列』	*等差数列や等比数列について理解し、 それらの一般項や和を求めることができる。 *漸化式について理解し、事象の変化を 漸化式で表したり、簡単な漸化式で表さ れた数列の一般項を求めることができ る。	中間考査 期末考査 課題	中間考査 期末考査 課題	課題
5					
6					
7					

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	数学B 第1章『数列』	* 数学的帰納法について理解する。	学力考查 確認考查 中間考查 課題	学力考查 確認考查 中間考查 課題	課題
	数学B 第2章『統計的な推測』	* 確率変数を導入し、確率分布の意味を理解する。 * 確率変数の期待値、分散、標準偏差について理解する。	中間考查 確認考查 期末考查 課題	中間考查 確認考查 期末考查 課題	中間考查 確認考查 期末考查 課題
10					
11					
12	数学C 第1章『平面上のベクトル』	* 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、成分表示について理解する。			

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	数学C 第1章『平面上のベクトル』	* ベクトルの内積及び基本的な性質について理解する。	課題考查 学年末考查 課題	課題考查 学年末考查 課題	課題
2	数学C 第2章『空間のベクトル』	* 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解する。 * ベクトルを利用して、平面図形や空間図形の性質を見出すことができる。			
3					

担当者からのメッセージ

高度な内容が増えてくるので、予習・復習を怠らず、概念理解に努めること。問題を解いて終わりではなく、そこから何を学ぶのかを問い続けること。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS] (数学科)

科目名	GS 数学B		学年	類型・コース	単位数
			2	GS/理	3
学習の 目 標	数学と社会生活との関わりについての認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。				
使 用 教 材	教科書	NEXT 数学B、NEXT 数学C			
	副教材	「FocusGold 5th Edition 数学Ⅱ+B+ベクトル(数学C)」(啓林館)、 CONNECT 数学Ⅱ+B+C (数研出版)			
評 価	評価法	定期考査、学力考査、課題考査、確認考査、課題の取組状況および提出状況などで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。事象を数学的に表現・処理する仕方 や推論の方法などの技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り 多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な 見方や考え方を身に付けている。	
		3	主体的に学習に 取り組む態度	数学的な考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識 し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基 いて判断しようとする。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A， B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	数学B 第1章『数列』	＊等差数列や等比数列について理解し、 それらの一般項や和を求めることができる。 ＊漸化式について理解し、事象の変化を 漸化式で表したり、簡単な漸化式で表さ れた数列の一般項を求めることができ る。 ＊数学的帰納法について理解する。	中間考査	中間考査	課題
5			期末考査	期末考査	
6			課題	課題	
7					

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9	数学C 第1章『平面上のベクトル』 第2章『空間のベクトル』	＊平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、成分表示について理解する。 ＊ベクトルの内積及び基本的な性質について理解する。 ＊座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解する。 ＊ベクトルを利用して、平面図形や空間図形の性質を見出すことができる。	学力考查	学力考查	課題
10			確認考查	確認考查	
11			中間考查	中間考查	
12			確認考查	確認考查	
			期末考查 課題	期末考查 課題	

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1	数学B 第2章『統計的な推測』	＊確率変数を導入し、確率分布の意味を理解する。 ＊確率変数の期待値、分散、標準偏差について理解する。	課題考查	課題考查	課題
2			学年末考查 課題	学年末考查 課題	
3					

担当者からのメッセージ

高度な内容が増えてくるので、予習・復習を怠らず、概念理解に努めること。問題を解いて終わりではなく、そこから何を学ぶのかを問い続けること。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[理]科

科目名	物理基礎		学年	類型・コース	単位数
			2	GS/理	2
学習の目標	物理への興味関心を高め、科学的に思考する基礎を形成する。また、周りに生起する事象に対して意欲を持って発展的に考察する態度を養う。				
使用教材	教科書	物理基礎（数研出版）			
	副教材	リードα 物理基礎（数研出版） 物理図録（数研出版）			
評価	評価法	授業の集中度、実験への取組やレポートの内容、小テスト・定期考査の得点などを総合的に扱う。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	物理の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識・技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	物理的な見方や考え方をを用いて探究することを通じて、考えたり判断したり表現したりしている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	主体的に知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現をしようとしたりしている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
4	運動の表し方	速度 加速度 落体の運動	定期考査	定期考査	生徒観察 課題 小テスト
5					
6	運動の法則	力とそのはたらき 力のつりあい 運動の法則			
7					

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	運動の法則	摩擦を受ける運動 液体や気体から受ける力	定期考査	定期考査	生徒観察 課題 小テスト
10	仕事と力学的エネルギー	仕事・運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギーの保存			
11	熱とエネルギー	熱と物質の状態 熱と仕事			
12	波の性質	波と媒質の運動 波の伝わり方			

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	音	音の性質 発音体の振動と共振・共鳴	定期考査	定期考査	生徒観察 課題 小テスト 実験レポート
2	物質と電気	電気の性質 電流と電気抵抗 電気とエネルギー			
	磁場と交流	電流と磁場 交流と電磁波			
3	エネルギーの利用	エネルギーの移り変わり エネルギー資源と発電			

担当者からのメッセージ

物理という学問は数学と大変関連深く、「自然哲学」とも呼ばれている。また物理は自然界で起こる身近な現象を題材として扱うことが多く、その原理や法則などを数式によって表現する。そのため、物理の問題を解く際には計算等の数学力や、正しく状況を理解するための読解力・想像力が必要となる。受講生には、普段から身近な物理現象に興味をもち、主体的に理解を積み重ねるための努力をすることを望む。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS] (理科)

科目名	GS 物理 I		学年	類型・コース	単位数
			2	GS/理	4
学習の目標	物理への興味関心を高め、科学的に思考する基礎を形成する。また、周りに生起する事象に対して意欲を持って発展的に考察する態度を養う。				
使用教材	教科書	[物理基礎] 物理基礎（数研出版） [G S 物理] 総合物理 1（数研出版） 総合物理 2（数研出版）			
	副教材	リードα 物理基礎・物理（数研出版） 物理図録（数研出版）			
評価	評価法	授業の集中度、実験への取組やレポートの内容、小テスト・定期考査・課題考査の得点などを総合的に扱う。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	物理の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識・技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	物理的な見方や考え方をを用いて探究することを通じて、考えたり判断したり表現したりしている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	主体的に知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現をしようとしていたりしている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，C の 3 段階）および評定（1～5 の 5 段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	運動の表し方	速度・加速度・落体の運動	定期考査	定期考査	生徒観察 課題 小テスト
5	運動の法則	力とそのはたらき・力のつりあい 運動の法則 摩擦を受ける運動			
6		液体や気体から受ける力 剛体にはたらく力のつりあい			
7		仕事と力学的エネルギー			

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	仕事と力学的エネルギー	位置エネルギー 力学的エネルギーの保存	定期考査	定期考査	生徒観察 課題 小テスト
10	運動量の保存	運動量と力積 運動量保存則 反発係数			
	円運動と万有引力	等速円運動 慣性力 単振動 万有引力			
11					
12	波の性質	波と媒質の運動			

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	波の性質	正弦波の式 波の伝わり方	定期考査	定期考査	生徒観察 課題 小テスト 実験レポート
2	音	音の伝わり方 発音体の振動と共振・共鳴 音のドップラー効果			
	光	光の性質 レンズと鏡 光の干渉と回折			
3					

担当者からのメッセージ

物理の問題を解くときは論理立てて解答のストーリーを確認しながら解くことを心掛ける。物理の考査において、根拠が不十分な解答は、答えが正しくても減点の対象となる。手間なようだが、模範解答のように誰もが納得できる解答を目指し、頭の中で整理をしながら解くようにすること。これを繰り返すことで、初見の問題に対しても解答の糸口が掴めるようになり、受験問題にも対応できるようになる。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS] (理科)

科目名	GS 生物			学年	類型・コース	単位数
				2	GS/理	2
学習の 目 標	生命の神秘に触れながら、科学的な物の見方、考え方を養う。					
使 用 教 材	教科書	高等学校生物（啓林館）				
	副教材	資料集：新課程版スクエア最新図説生物（第一学習社） 問題集：リードα 生物（数研出版）				
評 価	評価法	定期考査、実験レポート、問題集ノート、発問評価、パフォーマンス(P)課題（課題プリント、単元末評価課題）				
	評価 観点 の趣旨	1	知識・技能	生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。		
		2	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。		
		3	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。		
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。					

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	第1章 生物の進化	・生命の起源と生物進化の道筋について学び、生物進化がどのようにして起こるのかを理解する。 ・減数分裂による遺伝子の分配と受精により、遺伝的に多様な組み合わせをもつ子が生じることを理解するとともに、遺伝子の連鎖と組換えについても理解する。	中間考査 実験観察	中間考査 実験観察 実験レポート P課題 発問評価	実験観察 実験レポート P課題 問題集ノート
5	第2章 有性生殖と遺伝的多様性 第1節 有性生殖				
6	第2節 遺伝子の多様な組み合わせ	・進化と遺伝子との関係や、進化の要因について理解する。 ・新たな種類の生物が生じる過程、進化と遺伝子との関係、進化の要因について理解する。	期末考査 実験観察	期末考査 実験観察 実験レポート P課題 発問評価	実験観察 実験レポート P課題 問題集ノート
7	第3章 進化のしくみ				

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9	第 4 章 生物の系統	・生物種間の系統関係と、生物がもつ遺伝情報との関係について理解する。 ・生物の系統について理解する。 ・人類の系統と進化について、形態的特徴をもとに理解する。 ・人類の直立二足歩行の意義を理解する。	中間考査 実験観察	中間考査 実験観察 実験レポート P 課題 発問評価	実験観察 実験レポート P 課題 問題集ノート
10	第 5 章 生命現象と物質	・生物体を構成する主要な物質の化学的な特性を理解する。 ・細胞を構成する物質が、細胞の構造と機能に密接にかかわることを理解する。 ・タンパク質の構造と性質について理解する。 ・酵素がさまざまな化学反応の触媒として働くしくみを理解する。 ・膜輸送タンパク質の種類や働きを理解する。 ・受容体によって細胞に情報が伝達されるしくみを理解する。	期末考査 実験観察	期末考査 実験観察 実験レポート P 課題 発問評価	実験観察 実験レポート P 課題 問題集ノート
11					
12	第 6 章 代謝 第 1 節 代謝とエネルギー	・代謝においてエネルギーの受け渡しに関与する物質について理解する。			

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1	第 6 章 代謝 第 2 節 呼吸 第 3 節 光合成	・細菌が行う炭酸同化について理解する。 ・呼吸によって有機物が分解され、ATP が合成されるしくみについて理解する。 ・発酵のしくみについて理解する。 ・光合成色素とそれらが吸収する光の波長について理解する。 ・光合成において光エネルギーが化学エネルギーに変換される過程を理解する。	学年末考査 実験観察	学年末考査 実験観察 実験レポート P 課題 発問評価	実験観察 実験レポート P 課題 問題集ノート
2	第 7 章 遺伝現象と物質	・DNA の構造、遺伝情報の複製・転写・翻訳のしくみ、そして遺伝子発現の調節を学ぶ。			
3					

担当者からのメッセージ

考査の採点時には、観点別問題ごとの得点を記録し評価に活用する。また、実験観察の取り組み状況、問題集ノートの取り組み状況、実験レポートのスケッチ・記録・考察等も観点別評価に反映する。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS] (理科)

科目名	GS 化学		学年	類型・コース	単位数
			2	GS/理	2
学習の 目 標	物質に対する理解を深める過程で、化学的に探究する基礎的能力や態度を養い、基本的概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につける。				
使 用 教 材	教科書	化学（数研出版）			
	副教材	セミナー化学基礎＋化学（第一学習社） /サイエンスビュー新化学資料（実教出版）			
評 価	評価法	定期考査(年間5回)の点数、実験実習の取組状況、および、実験レポート[実 R]・Teams 課題[T 課]・プリント課題・自主学習兼問題集用ノートなどの提出物の内容をもとに評価する。			
	評価 観点 の趣旨	1	知識・技能	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	
		2	思考・判断・表現	化学的な事物・現象に問題を見出し、研究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，C の3段階）および評定（1～5 の5段階）にまとめます。				

【1 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	状態変化	物質の構造と融点・沸点 状態間の平衡	中間考査	中間考査 T 課	生徒観察 課題
5	固体の構造	結晶 アモルファス	中間考査	中間考査	実験 ノート
6	気体の性質	熱運動と気体分子，状態方程式 実験「分子量の測定」	期末考査	期末考査 実 R	課題
7	溶液	希薄溶液の性質，溶解平衡 実験「希薄溶液の性質」	期末考査	期末考査 実 R	ノート

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
7	溶液	コロイド 実験「コロイドの性質」	中間考查	中間考查 実 R	生徒観察 実験
8		夏休み課題「化学基礎復習」		T 課	夏課題
9	化学反応と熱・光 エネルギー	ヘスの法則 実験「反応熱」「ヘスの法則」	中間考查	中間考查 実 R	実験 課題
10	反応の速さとしくみ	反応の速さ，しくみ 実験「反応の速さ」	中間考查	中間考查 実 R	実験 ノート
11	化学平衡	可逆反応と化学平衡，平衡の移動 実験「ルシャトリエの原理」	期末考查	期末考查 実 R	実験 課題
12	化学平衡	電離平衡 実験「電離平衡」	期末考查	期末考查 実 R	ノート

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
12	元素と周期表	周期表と元素の性質 冬休み課題「酸化還元復習」	学年末考查	学年末考查 T 課	冬課題
1	非金属元素	水素と貴ガス，ハロゲン化合物 実験「ハロゲンの性質」	学年末考查	学年末考查 実 R	実験 課題
2	非金属元素	16 族，15 族，14 族元素と化合物 実験「硫黄とその化合物」 「窒素化合物」	学年末考查	学年末考查 実 R	実験 課題
3	非金属元素	気体の発生と捕集・乾燥 春休み課題「2 年の復習」	学年末考查	学年末考查	ノート

担当者からのメッセージ

授業は、穴埋め式プリントを基に、資料集/教科書(タブレットからも閲覧可の予定)や電子黒板/書画カメラ等の視聴覚設備を用いて行います。主体的に取り組む工夫をしてください。実験については、予習が大切でイメージを持って取り組めるようにしてください。定期考査時に提出してもらう自主学習兼問題集用ノートは、工夫と努力を評価しますが、日頃から化学と向き合う時間をとっているかどうかの確認にもなります。理系にとって化学は入試でも必須の科目となりますが、試験のためだけではなく、化学と生活との関わりを意識しながら、純粋に化学への興味を高めていってもらえると嬉しいです。授業や課題を丁寧に取組み、君たちの「化学力」を向上させましょう。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS] (理科)

科目名	GS 地学		学年	類型・コース	単位数
			2	GS/文	2
学習の目 標	地学分野に対する関心と探究心を高め、地学各領域の基本的な概念と原理を理解し、科学的なものの見方・考え方ができるようにする。				
使 用 教 材	教科書	高等学校 地学基礎（啓林館）			
	副教材	二訂版 ニューステージ地学図表（浜島書店） センサー 地学基礎 3rd Edition（啓林館）			
評 価	評価法	定期考査（年5回）、実験実習レポートの取り組み状況、問題集ノート			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	身近な自然や地学的現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。また、科学的に探究するために必要な観察や実験などに関する技能を身につけている。	
		2	思考・判断・表現	観察や実習を通して、自然の事物や現象に問題を見出し、科学的に探究する力を身につける。また、事象を科学的に論理的に表現できる。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	身近な自然や地学的事象に興味を持ち、意欲的に探究しようとする態度を身につけることができる。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	第1部 第1章. 地球 第2章. 活動する地球	- 地球の概観 (内部構造や構成など) とその探究方法を理解する。 - 地球表面のプレートの動きと地殻変動 (地震、火山活動、造山運動) の起こるメカニズムを理解する。 - 変成岩の成因と特徴を理解する	1学期 中間考査	1学期 中間考査	実験観察レポート
5				実験観察レポート	問題集ノート
6			1学期 期末考査	1学期 期末考査 実験観察レポート	振り返りシート
7	第2部 大気と海洋 第1章. 大気の構造	- 大気圏の構造と各圏の特徴について理解する。 - 大気圧の概念を理解する。	2学期 中間考査	2学期 中間考査レポート	実験観察レポート

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9	第 2 部 大気と海洋 第 2 章. 太陽放射と大気と海水の運動	・太陽放射と地球のエネルギー収支について理解する。 ・風の吹くメカニズムを理解し、大気の大循環や地球環境の違い、海水の循環についてその原因と特徴を理解する。 ・四季の気圧配置と天気の特徴を理解する。 ・宇宙の歴史、太陽系の天体と地球の形成史について理解する。 ・惑星や太陽系の天体の特徴を理解する。	2 学期 中間考査	2 学期 中間考査 実 験 観 察・レポート	実験観察 レポート 問題集 ノート 振り返り シート
10	第 3 章. 日本の天気				
11	第 3 部. 移り変わる地球		2 学期 期末考査	2 学期 期末考査 実 験 観 察・レポート	実験観察 レポート 問題集 ノート 振り返り シート
	第 1 章. 地球の誕生				
12	第 2 章. 地球と生命の進化	・地球の歴史（各時代の環境の変化）について理解する。	学年末 考査	学年末 考査 レポート	実験観察 レポート

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1	・先カンブリア時代 ・顕生代 第 3 章. 地球史の読み方 ・地層からわかること	・生物の進化と代表的な生物を理解する。 ・地層（堆積岩）の形成にかかわる様々な作用と地球表面の変化や特徴（地形）について理解する。 ・地層からわかることを理解し、地層の特徴や堆積構造、化石などから地層の新旧や地史を考察できる。 ・現在の地球環境と様々な災害について理解し、その対策を検討する。 ・人間生活による環境の変化を理解し、環境保全のためにすべきことを検討する。	学年末 考査	学年末 考査 実習 レポート	実験観察 レポート 問題集 ノート 振り返り シート
2	・地層の形成 ・地層の読み方 第 4 部. 自然との共生				
3					

担当者からのメッセージ

授業は、年間 40 枚程度のプリントで行います。各単元のポイントをしっかりと理解し、知識を定着させてください。そのためには、まず指示されたことをしっかりとやり遂げなさい。実習には積極的に参加し、地学や自然科学への興味・関心を高めてください。2 年生ではまだ国数英を中心に学習しますが、定期的な復習はしていくとよいです。また、実習（探究活動）を通して考察力、表現力（論理的に説明できる力）をつけてください。

令和 7 年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[外国語] 科

科目名	英語コミュニケーションⅡ		学年	類型・コース	単位数
			2	全	4
学習の目標	「英語コミュニケーションⅠ」で培った、主体的に英語を使用してコミュニケーションを図る姿勢を土台に、「日常的な話題」および「社会的な話題」を通じて、必要な情報や概要、相手の考えなどを的確に理解したり、論理性に注意して適切に伝えたりする能力の定着と活用を目指します。				
使用教材	教科書	Heartening English CommunicationⅡ（桐原書店）			
	副教材	「必携英単語 LEAP」（数研出版）、「READING CORE 3」（啓隆社）、「Ver.3.1 LISTENING TRIAL Stage 2.5」（文英堂）、「基礎英文問題精講 4 訂版」（旺文社）、「Cutting Edge Green(エミル出版)			
評価	評価法	定期考査、課題考査、学力考査、小テスト、パフォーマンス課題（音読テストや ALT の授業内で行われるテストなど）、ノートなどの提出物、振り返りシートなどで評価します。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	英語使用時に必要な語彙や表現の意味や働きを理解している。また、それらを正しく使用する技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	知識・技能を活用して課題を解決するのに必要な思考力・判断力・表現力を身に付けている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能および思考力・判断力・表現力などを身に付ける取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，C の 3 段階）および評定（1～5 の 5 段階）にまとめます。				

【1 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
4 5	Lesson 1 Laughter without Borders	L1 目標：①未来を表す表現、時制の一致 ②[伝統芸能]<対話文>	①②③	①②⑥	③④ ⑤⑥
	Lesson 2 The Ongoing Voyages Of Curry	L2 目標：①未来完了形、前置詞 ②[食文化]<説明文>			
	Lesson 3 The World's Most Bicycle-friendly City	L3 目標：①助動詞 have 過去分詞、 助動詞に関する表現 ②[環境]<説明文>			
6	Lesson 4 Can You Feel Emotions in Text?	L4 目標：①さまざまな動名詞と表現 ②[言語]<論証文>	①③	①⑥	③④ ⑤⑥

6 7	Lesson 5 Background Music and Sharks Lesson 6 The Benefits of Play	L5 目標：①さまざまな不定詞と表現 ②[心理学]<報告文> L6 目標：①さまざまな受動態 ②[脳科学]<説明文>	①③	①⑥	③④ ⑤⑥
--------	--	---	----	----	----------

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9 10	Lesson 7 Nursing in a War Zone Lesson 8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	L7 目標：①さまざまな分詞構文 ②[国際協力]<説明文> L8 目標：①比較に関する表現、接続詞 ②[科学と伝統]<スピーチ>	①③	①⑥	③④ ⑤⑥
11 12	Lesson 9 The Next Wave in Artificial Intelligence Lesson 10 What If There Were No Moon?	L9 目標：①関係詞 ②[ロボット技術]<説明文> L10 目標：①仮定法、無生物主語 ②[月に関する講義]<説明文>	①③	①⑥	③④ ⑤⑥

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1 2 3	長文読解演習	目標：様々なテーマ、文章にふれながら、総合的な英語力の伸長を図る。	①②③	①②⑥	③④ ⑤⑥

(進度表の補足)

「学習内容」

目標：①各 lesson の言語材料に関する知識を身に付け、適切に用いることができる。

②各 lesson の[テーマ]に関する<文章の種類>を題材に、意欲的にコミュニケーションを行うことができる。

「評価記録」... ①定期考査、②課題考査・学力考査、③小テスト、④提出物、⑤パフォーマンス課題、⑥振り返りシート

担当者からのメッセージ

4技能（5領域）を意識したさまざまな活動を行うことにより内容の理解を深めていきます。また、副教材の確認テスト・課題提出を随時行うことにより、学力の伸長を図ります。また、評価については、1年次よりも課題や提出物、パフォーマンスの質にもより重点を置いて、評価をします。この1年間は英語の力を伸ばす上で非常に大切な期間となりますので、予習→授業→復習のサイクルを徹底して行い、こつこつと学習を継続しましょう。
★進度については、生徒の学習状況により変更する場合があります。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[G S] (外国語科)

科目名	GS 論理・表現Ⅱ		学年	類型・コース	単位数
			2	全	2
学習の 目 標	国際的な視野に立ち、英語を通じて、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。「GS 論理・表現Ⅰ」で習得した知識を活かし、意見や事実を適切な表現で話したり、書いたりする能力の定着を図る。また、ある程度の文量で、論理的な展開かつ伝わりやすい英作文を作成し、人前で発表できる技能を身に着ける。				
使 用 教 材	教科書	Genius English Logic and Expression Ⅱ（大修館書店）			
	副教材	サクセス 英作文 Approach（啓隆社）、英文法・語法 Vintage 4th Edition（い いずな書店）、必携英語表現集（数研出版）、必携英語表現活用ノート（数研出 版）			
評 価	評価 法	定期考査、課題考査、学力考査、小テスト、パフォーマンス課題(学期ごとのスピー チ、プレゼンテーション)、課題の取り組み状況を総合的に判断して評価します。			
	評価 観 点 の 趣 旨	1	知識・技能	基本的な英文法・構文や重要表現が定着できている。 語法やイディオムの習得ができている。	
		2	思考・判断・表現	学習した知識・技能を活用し、まとまった分量の英文を正し く論理的に書き（話し）表現することができる。	
		3	主体的に学習に 取り組む態度	与えられた課題に取り組むとともに、自ら進んで学習し、調 整しようする姿勢を示している。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A， B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 5	教科書： Part I サクセス英作文： Lesson 1 ～ 3	教科書：文の組み立て方 サクセス英作文：時制・義務・忠告・ 助言・推量・確信・後悔	①② ③	①	③④ ⑤⑥
6 7	教科書： Part II サクセス英作文： Lesson 4 ～6	教科書：パラグラフライティング サクセス英作文： 希望・意向・質問・受動態	①③	①	③④ ⑤⑥

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9 10	教科書： Part III サクセス英作文： Lesson 7 ~ 9	教科書：スピーチ・プレゼンテーション サクセス英作文：不定詞・動名詞 現在分詞・過去分詞・比較表現	①② ③	①	③④ ⑤⑥
11 12	教科書： Part IV サクセス英作文： Lesson 10 ~ 12	教科書：ディベート・ディスカッション サクセス英作文：形式主語・形式目的語 時に関する表現・条件・仮定	①③	①	③④ ⑤⑥

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1 2 3	教科書： Part V サクセス英作文： Lesson 13 ~ 16	教科書：エッセイライティング サクセス英作文：人の行動を促す 関係詞・否定表現	①② ③	①	③④ ⑤⑥

(進度表の補足)

「評価記録」… ①定期考査、②課題考査・学力考査、③小テスト、④ノート・提出物、⑤パフォーマンス課題、⑥振り返りシート

担当者からのメッセージ

「GS 論理・表現Ⅱ」では、5 領域まんべんなく扱いながらも、「書くこと」「話すこと[発表]」の技能養成に焦点を当てて授業を行います。「GS 論理・表現Ⅰ」で習得した文法事項を活用しながら、英語を書いたり話したりして伝えることの面白さ、日本語と英語の違いを体感しながら学習していきましょう。また、評価については、1 年次よりも課題や提出物、パフォーマンスの質にもより重点を置いて、評価をします。進度については、生徒の学習状況により変更する場合があります。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔保健体育〕科

科目名	体育		学年	類型・コース	単位数
			2	全	2
学習の 目 標	心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する				
使 用 教 材	教科書	新高等保健体育（大修館書店）			
	副教材				
評 価	評価法	授業中の行動観察、記録会や試合・発表会の結果分析、ワークシート、ノート、スキルテスト、レポート課題(体育理論)			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	体づくり運動	体づくり運動 ・東高体操・集団行動復習	行動観察	行動観察	行動観察
5 6	【選択1期】 ・バドミントン ・ソフトボール ・卓球	・グループ学習 ・基礎技術の復習 ・応用技術の習得 ・ルールの理解 ・ゲーム ・ゲーム運営	行動観察 スキルテスト 試合の運営、結果分析	行動観察 ワークシート ノート	行動観察 ワークシート ノート
7	体育理論	・スポーツにおける技術と戦術・戦略 ・スポーツにおける技能と体力	レポート 課題	行動観察 ワークシート	行動観察 ワークシート

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9 ・ 10	【選択 2 期】 ・ソフトボール ・バドミントン ・サッカー	・グループ学習 ・基礎技術の復習 ・応用技術の習得 ・ルールの理解 ・ゲーム ・ゲーム運営	行動観察 スキルテ スト 試合の運 営、結果 分析	行動観察 ワークシー ト ノート	行動観察 ワークシー ト ノート
11 ・ 12	【選択 3 期】 ・剣道Ⅱ ・柔道Ⅱ ・ダンスⅡ (1 年時の選択種目 と同種目を選択する) 体育理論	・基礎技術の復習 ・応用技術の習得 ・試合に向けた対人練習(剣道・柔道) ・発表会に向けたグループ学習 ・技能の上達過程と練習の考え方 ・効果的な動きのメカニズム ・体力トレーニング ・運動やスポーツでの危険予知と安全確保	行動観察 スキルテ スト 試合、発 表会の運 営、結果 分析 レポート 課題	行動観察 ワークシー ト ノート 行動観察 ワークシ ート	行動観察 ワークシー ト ノート 行動観察 ワークシ ート

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1 ・ 2 ・ 3	【選択 4 期】 ・卓球 ・サッカー ・バドミントン	・グループ学習 ・基礎技術の復習 ・応用技術の習得 ・ルールの理解 ・ゲーム ・ゲーム運営	行動観察 スキルテ スト 試合の運 営、結果 分析	行動観察 ワークシー ト ノート	行動観察 ワークシー ト ノート

担当者からのメッセージ

1 年時に学んだ取り組みをさらに発展させ、自ら考え行動し、他者との協力の中でスポーツの楽しさを学んでいこう。様々なスポーツをより理解し、種目のルールの把握はもちろん、ゲームの審判ができるようになり、自分たちでゲーム運営ができるようになろう。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔保健体育〕科

科目名	保健		学年	類型・コース	単位数
			2	文/理	1
学習の 目 標	心と体を一体として捉え、生涯を通じて心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する。				
使 用 教 材	教科書	新高等保健体育（大修館書店）			
	副教材				
評 価	評価法	定期考査、ノート、ワークシート、行動観察			
	評価 観点 の趣旨	1	知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	【生涯を通じる健康】 1. 思春期と健康 2. 性意識の変化と性行動の選択 3. 結婚生活と健康 4. 妊娠出産と健康 5. 家族計画 6. 加齢と健康	・思春期における体の変化と性機能の成熟 ・思春期における心の変化と健康課題 ・性意識の変化と異性の尊重 ・性に関する情報と性行動の選択 ・結婚、婚姻状況と健康 ・夫婦関係、親子関係と健康 ・受精、妊娠、出産 ・母子の健康のために ・家族計画の意義 ・避妊法の選択と人工妊娠中絶 ・加齢による心身の変化 ・中高年期を健やかに過ごすために	定期考査 ノート ワークシート	定期考査 ノート ワークシート	行動観察 ノート ワークシート

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9	7. 高齢社会に対応した取り組み	・ 高齢者を取り巻く状況	定期考査	定期考査	行動観察
	8. 働くことと健康	・ 高齢者を支える社会の取り組み	ノート	ノート	ノート
	・	・ 働くことの意義と働き方の変化	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	9. 労働災害の防止	・ 働く人における健康問題の現状			
		・ 日本における労働災害の推移			
		・ 労働災害を防止するための仕組み			
10	10. 働く人の健康づくり	・ 職場における健康の保持、増進活動			
	【健康を支える環境づくり】	・ 日常生活時の健康の保持、増進活動			
	・ 1. 大気汚染と健康	・ 大気汚染による健康への影響			
		・ 地球規模の大気環境問題			
	2. 水質汚濁・土壌汚染と健康	・ 水質汚濁による健康への影響			
11		・ 土壌汚染による健康への影響			
	3. 健康被害を防ぐための環境対策	・ 環境汚染の防止とその対策			
		・ 産業廃棄物の問題と新たな環境汚染の課題			
		・ 安全な飲み水の供給と汚水の処理			
12	4. 環境衛生に関わる活動	・ 生活環境を守るごみ処理			

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
	5. 食品の安全性と健康	・ 食品の安全性と健康	定期考査	定期考査	行動観察
	6. 食品の安全性を確保する取り組み	・ 食品の安全性の確保	ノート	ノート	ノート
		・ 食品の安全性を確保する行政、生産・製造者の役割	ワークシート	ワークシート	ワークシート
1	7. 保健制度とその活用	・ 食品の安全性の確保と私たちの役割			
	・	・ 生涯を通じて病気から人々の健康を守る保健行政			
	8. 医療制度とその活用	・ 健康の保持増進のために活用できる保健サービス			
2	9. 医薬品の制度とその活用	・ 医療制度と医療保険			
	・	・ 医療機関の役割と適切な活用			
	10. 様々な保健活動や対策	・ 医薬品の種類と承認制度			
3	11. 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	・ 医薬品の使い方			
		・ 地球規模の健康課題を解決する取組			
		・ 様々な機関、組織の活動			
		・ すべての政策や取り組みに「健康」の視点を			
		・ 多様な人や組織が参加して進める環境づくり			

担当者からのメッセージ

自分自身の心身の変化に気づき、その変化の原因を知ること。更には人生の様々な過程において生じる問題に対応できる知識を身につけよう。また、私たちが住む地球の環境保全にも意識を向け、持続可能な社会をつくるためには、一人一人の行動が大切であることを学ぼう。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔芸術〕科

科目名	音楽Ⅰ			学年	類型・コース	単位数
				2	全	2
学習の目標	音楽の諸活動を通して創造的な表現の能力を伸ばし、音楽に対する豊かな感性と音楽を愛好する心情を養う。					
使用教材	教科書	『ON! 1』（音楽之友社）				
	副教材	『MUSIC NOTE 基礎から学ぶ高校音楽』（啓隆社）				
評価	評価法	定期考査、各種実技試験、授業態度、課題の取組状況および提出状況などで評価する。				
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。		
		2	思考・判断・表現	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。		
		3	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身につけている。		
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。					

【1学期】

月	学習項目・題材	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	歌唱を中心に、発声法および校歌練習		実技観察 課題	実技観察 課題	実技観察 課題 授業態度等
5	歌唱（世界の歌曲）と楽典（音階の学習）		実技観察 課題	実技観察 課題	実技観察 課題 授業態度等
6	歌唱（日本の歌曲）と楽典（音階と調子記号の学習）		実技観察 課題	実技観察 課題	実技観察 課題 授業態度等
7	世界及び日本の歌曲より、ソロでの実技試験と合唱曲の練習		実技試験 定期考査	実技試験 定期考査	実技観察 課題 授業態度等

【2学期】

月	学習項目・題材	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	合唱曲の練習と理論（調子記号とその主音）		実技観察 課題	実技観察 課題	実技観察 課題 授業態度等
10	合唱曲の練習		実技観察 実技試験 課題	実技観察 実技試験 課題	実技観察 課題 授業態度等
11	器楽（リコーダー）、楽典（創作）		実技観察 課題	実技観察 課題	実技観察 課題 授業態度等
12	器楽（ギター）、楽典（コードネーム、創作）		実技試験 定期考査	実技試験 定期考査	実技観察 課題 授業態度等

【3学期】

月	学習項目・題材	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	器楽（アンサンブル） 日本の伝統音楽である和楽器と能舞台の見学 （彦根城博物館）		実技観察 課題	実技観察 課題	実技観察 課題 授業態度等
2	器楽 楽典（音程、和音、コードネームの種類）		実技観察 実技試験 課題	実技観察 実技試験 課題	実技観察 課題 授業態度等
3	音楽鑑賞		実技観察 レポート 定期考査	実技観察 レポート 定期考査	実技観察 レポート 授業態度等

担当者からのメッセージ

コロナ禍で音楽活動が縮小されるなど、窮屈な環境が続きましたが、音楽などの芸術活動を通して、幅広い教養を身につけることが、社会に出てから大きな力になると思います。創造的な表現力だけでなく、豊かな感性と音楽を愛好する心情を身につけてほしいと思います。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔 芸術 〕 科

科目名	書道Ⅰ		学年	類型・コース	単位数
			2	全	2
学習の目標	書の美しさを生み出している用筆法・結構法を分析的にとらえることが出来るようにする。授業で扱う古典を鑑賞したうえで、実践的に書に親しむ活動を通して感性を豊かにし、自己を主体的に表現する為の基礎的な能力を伸ばす。				
使用教材	教科書	『書道Ⅰ』（東京書籍）			
	副教材	なし			
評価	評価法	作品制作、小テスト、授業態度、課題の取組状況および提出状況などで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけている。	
		2	思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫し、作品や書の伝統・文化の意味や価値を考え、書の美を味わうことができる。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統・文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を身につけている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	硬筆《ペン字》	・楷書の結構法、執筆法 ・中学校で学んだ字形・全体の構成	作品の完成度・課題・小テスト等	作品・課題等	振り返りシート・ワークシート等
5	硬筆《ペン字》	・多字数（たて書き）の作品作り ・書の目的や用途に即した表現形式を学ぶ			
6	硬筆《ペン字》	・手書きの美しさ（行書の動き） ・基本の表現の技能を身につける			
7	毛筆《楷書》	・執筆法、姿勢（構え） ・字形の取り方について理解する			

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	毛筆《唐の楷書》	・虞世南『孔子廟堂碑』 書風の用筆・運筆との関わりや構成を学ぶ ・緒遂良『雁塔聖教序』 抑揚をつけたしなやかな表現効果 ・欧陽詢『九成宮醴泉銘』 線質・字形・構成等の要素と関わり	作品の完成度・課題・小テスト等	作品・課題等	振り返りシート・ワークシート等
10	毛筆《北魏の楷書》	・『牛橛造像記』 直線の点画の鑑賞をし、切れ味の鋭い方筆表現による作品づくり			
11	篆刻《篆書》	・篆書のルールを生かした印制作 ・『泰山刻石』 字形・構成から文字の伝統文化を知る			
12	毛筆《隸書》	・『曹全碑』 逆筆による表現効果を知る ・書き初め作品の構想			

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	毛筆《行書》	・王羲之『蘭亭序』 線の抑揚やリズムを大切にした運筆を学ぶ ・空海『風信帖』 重量感ある太い線の演出を学ぶ ・書き初め作品の制作	作品の完成度・課題・小テスト等	作品・課題等	振り返りシート・ワークシート等
2	毛筆《漢字かな交じり文》	・行書表現による作品づくり 筆脈を生かした曲線的字形			
3	毛筆《仮名》	・紀貫之『高野切』 仮名古典に基づく用筆・運筆の技能を身につける			

担当者からのメッセージ

書（特に毛筆で書かれた文字）は、漢字文化圏において、文字を書くことから昇華した造形的視覚芸術とされる。数千年の歴史を背景に最も東洋的な文化として発展した。

古来、「書は人なり」と言われるように、筆者の個性や意図は筆遣いや、用具、用材等の違いによって、その趣に特徴が生じる。書Ⅰでは、書的美を形成する古典を鑑賞し、そしてそこから学びとり、自分自身の表現を探りながら、創造する喜びを知っていくための礎としたい。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔芸術〕科

科目名	美術Ⅰ		学年	類型・コース	単位数
			2	全	2
学習の目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。				
使用教材	教科書	『高校生の美術1』（日本文教出版）			
	副教材	なし			
評価	評価法	作品制作、レポート、振り返りカード、課題の取組状況および提出状況などで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	
		2	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身につけている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・題材	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	「鑑賞」・・・ガイダンス 2h	- 基礎的な描画力、表現力の養成 - 遠近法を用いた表現 形、面、色、明暗、質感の追求 - 鉛筆、コンテ、色鉛筆等を用いた制作	実技観察 作品制作	実技観察 作品制作	振り返り カード
5	「絵画」・・・デッサン 14h				振り返り カード 実技観察
6	「鑑賞」・・・焼き物のデザイン 2h				振り返り カード 実技観察
7	「立体・デザイン」・・・日本文化、器のデザイン① 4h	- 美の構成要素の理解 - 器のデザインの制作	実技観察 作品制作	実技観察 作品制作	

【2学期】

月	学習項目・題材	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9	「立体・デザイン」・・・日本文化、器のデザイン② 6h ・伝統技法による器の制作 「鑑賞」・・・名画を読み解く（グループ活動） 4h 「絵画」・・・油絵（静物画）制作 18h ・油絵における材料の特性の理解 ・色彩の基礎（色相、明度、彩度、補色）の理解 ・表現意図に合った構図の追求 ・印象派の表現方法（点描による筆触分割等）に触れ、光と影の追求 「鑑賞」・・・随時行う ・印象派の画家を中心に	実技観察 作品制作	実技観察 作品制作	振り返り カード 実技観察	
		ワーク シート	ワーク シート	ワーク シート	
10			実技観察 作品制作	実技観察 作品制作	振り返り カード 実技観察
11					
12					

【3学期】

月	学習項目・題材	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1	「立体・デザイン」・・・日本文化、器のデザイン③ 2h ・「器と食文化について」 レポート	「版画」・・・メゾチント版画制作 18h ・超現実主義の世界観の理解 ・下絵、彫り、刷りの作業工程の理解 ・白黒のバランス、線と面の表現	レポート 課題	レポート 課題	レポート 課題
2			実技観察 作品制作	実技観察 作品制作	振り返り カード 実技観察
3					

担当者からのメッセージ

小林秀雄の「美を求める心」の中で、「葦の花という言葉が心に入ってくれば、眼を閉じてしまう」と書いているところがあります。芸術の時間は、概念などではなく、自分の感性で見て感じて追求する時間としてほしいと思います。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS] (情報科)

科目名	GS 情報		学年	類型・コース	単位数
			2	文/理	1
学習の 目 標	国際的な視野に立ち、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。				
使 用 教 材	教科書	高等学校情報Ⅰ（数研出版）			
	副教材	サポートノート情報Ⅰ（数研出版）30 時間でマスター Office2016（実教出版） 大学入学共通テスト 情報Ⅰ 演習問題集（数研出版）			
評 価	評価法	期末考査，実習課題の評価，サポートノートの取組状況，単元ごとの振り返りなどで評価する。			
	評価 観点 の趣旨	1	知識・技能	コンピュータや外部装置の仕組みや特徴，プログラミングによってコンピュータを活用する方法，情報通信ネットワークの仕組みについて理解し，技能を身につけている。	
		2	思考・判断・表現	目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し，プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに，その過程を評価し改善している。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。	
	上に示す観点に基づいて，各観点で評価し，学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，C の 3 段階）および評定（1～5 の 5 段階）にまとめます。				

【1学期】

月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
				観点1	観点2	観点3
4 5	3	コンピュータネットワーク 通信プロトコル パケット通信 通信の信頼性 演習：Excel 初級	情報通信ネットワークの基本的な方式やプロトコルの役割について理解し、通信の信頼性や情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解する。。	期末考査 実習課題	期末考査 実習課題	提出物 （ノート・実習課題）
6	3	IP アドレスとドメイン名 WWW の仕組みと URL 演習：データ分析①	インターネットの基本的な仕組みを理解する。	期末考査 実習課題	期末考査 実習課題	提出物 （ノート・実習課題）

7	2	電子メールの送受信の仕組み、情報の暗号化 演習：データ分析②	インターネットの基本的な仕組みを理解する	期末考査 実習課題	期末考査 実習課題	提出物 (ノート・実習課題)
---	---	-----------------------------------	----------------------	--------------	--------------	-------------------

【2学期】

月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
				観点1	観点2	観点3
9	3	コンピュータの仕組み 実習：アルゴリズム	コンピュータや外部装置の基本的な仕組みや特徴を理解し、コンピュータの内部における情報の表現方法を理解する。	期末考査 実習課題	期末考査 実習課題	提出物 (ノート・実習課題)
10 11	5	プログラミング 実習：プログラミング	プログラミング言語の実行の仕組みやプログラミングの基本を理解するとともに、プログラミングによってコンピュータを活用する方法を身につける。	期末考査 実習課題	期末考査 実習課題	提出物 (ノート・実習課題)
12	3	モデル化とシミュレーション 実習：プログラミング	社会や自然などにおける事象をモデル化する方法やシミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解する。	期末考査 実習課題	期末考査 実習課題	提出物 (ノート・実習課題)

【3学期】

月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
				観点1	観点2	観点3
1 2 3	6	データベース 情報システム	データベースの概念やデータベース管理システムの機能について理解する。	期末考査 実習課題	期末考査 実習課題	提出物 (ノート・実習課題)

担当者からのメッセージ

情報社会に必要なスキルや知識を、実習を通じて身につけよう。

1年生の頃に比べると内容が専門的で、複雑になります。わからないことがあれば遠慮なく先生に聞いてください。

情報嫌いにならないよう、皆さんの興味・関心を引くように、教材や内容について工夫します。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS]

科目名	Advanced Research II		学年	類型・コース	単位数
			2	GS	3
学習の目標	課題を設定させてG S課題研究に取り組ませることで課題設定能力，問題解決能力の育成を目指す。日本語および英語のプレゼンテーション能力をG S課題研究の進捗に合わせてつける。				
使用教材	教科書	なし			
	副教材	教師作成による独自プリント等			
評価	評価法	学校独自に作成したリーダーシップ評価（L S P評価）をおこなう。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	課題研究を進めるのに必要な知識や技能を学び、身につけている。	
		2	思考・判断・表現	課題研究をおこなう過程において生じる課題や考察を、科学的に判断し、またその成果を適切な方法で表現することができる。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	課題研究に意欲的に取り組んでいる。	
	※評価の示し方については、文部科学省推進「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」カリキュラム開発拠点校に係る特例に基づく独自の方法を実施する。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	GS課題研究	ガイダンス，グループ決め テーマ設定	レポート	レポート	レポート
5	GS課題研究	テーマ設定	レポート	レポート	レポート
6	GS課題研究	テーマ決定	レポート	レポート	レポート
7	GS課題研究	調査・研究方法の検討，実施	レポート	レポート	レポート

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
8	G S 課題研究	課題研究活動	LSP 評価	LSP 評価	LSP 評価
9	G S 課題研究	課題研究活動 プレゼンテーション研修Ⅰ	LSP 評価	LSP 評価	LSP 評価
10	G S 課題研究	課題研究活動 中間報告会	LSP 評価 発表	LSP 評価 発表	LSP 評価 発表
11	G S 課題研究	課題研究活動 統計処理研修	LSP 評価 レポート	LSP 評価 レポート	LSP 評価 レポート
12	G S 課題研究	課題研究活動、校内発表 プレゼンテーション研修Ⅱ	LSP 評価 発表	LSP 評価 発表	LSP 評価 発表

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	G S 課題研究	課題研究活動 校外発表	LSP 評価 発表	LSP 評価 発表	LSP 評価 発表
2	G S 課題研究	課題研究（英語による発表資料作成） 個人発表	LSP 評価 発表	LSP 評価 発表	LSP 評価 発表
3	G S 課題研究	課題研究 国際フォーラム	LSP 評価 発表	LSP 評価 発表	LSP 評価 発表

担当者からのメッセージ

G S 課題研究は4人程度のグループでテーマの設定からその調査・研究の実施、そしてその成果を発表するところまで全ての過程を君たちが中心になって行います。教師はあくまでも見守り役です。ですので、積極的に取り組めばどんどん面白い時間になっていきます。研究を進めるにあたり必要なプレゼンテーションや統計処理などのノウハウについても随時研修を計画しています。課題研究をやり遂げた時、今よりずっと大きく成長した自分に出会えることでしょう。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS]

科目名	Integrate II		学年	類型・コース	単位数
			2	GS	1
学習の目標	教科融合授業や現地研修などを実施することを通し、現代社会の課題などを解決するために必要な総合的な学力の育成を図り、文理の枠を越えた、様々な角度から物事を捉える姿勢を養う。				
使用教材	教科書	特になし			
	副教材	学校が作成する自主教材			
評価	評価法	課題、レポートの取組状況および提出状況などで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	世界的な課題やさまざまな事象について、様々な分野の知識や技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	世界的な課題やさまざまな事象を俯瞰的に捉え、多角的に分析し、その結果を論理的にまとめ、表現する力を身に付けている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	世界的な課題の解決に向けて、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。	
	※評価の示し方については、文部科学省推進「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」カリキュラム開発拠点校に係る特例に基づく独自の方法を実施する。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 ～ 8	① GS 課題研究に関わる研修・指導 「実験・調査ノート作成研修」 「文献検索」「課題研究の進め方」 ② 外部講師による講演 ③ 博物館などでの実地研修		課題 レポート	課題 レポート	課題 レポート

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9 ～ 12		① G S 課題研究に関わる研修・指導 ・大学や関連機関への訪問など ・学会などへの参加，発表 ② 教科融合授業 ・事前学習 ・教科融合授業「未定」（予定） ・事後学習	課題 レポート	課題 レポート	課題 レポート

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1 ～ 3		① G S 課題研究に関わる研修・指導 ・学会などへの参加，発表 ・論文作成	課題 レポート	課題 レポート	課題 レポート

担当者からのメッセージ

“Integrate” には、「統合する」「まとめる」という意味があります。

SDGs のように世界共通のテーマに対しては、偏った情報やステレオタイプの固定観念にとらわれず、文理の枠を越えて、様々な角度から物事を捉える姿勢が必要です。

この授業では、このような姿勢をもち、統合的に世界的テーマを扱う力を身につけていってほしいと思います。